

継続

エリプタ吸入指導報告書

Ver.20180601改定

患者ID: _____

_____ 病院 _____ 科 _____ 医師

調剤薬局名: _____

指導を受けた方: 担当薬剤師名: _____ 先生

☐ご本人 ☐ご家族 ☐その他

指導日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

FAX送信先：横浜労災病院薬剤部
FAX: 045-474-8024 TEL: 045-474-8111

商品名: _____ 用法用量: _____

★の項目が指導後も×の場合は、治療継続不可とします。			指導前	指導後
準備		カウンターで残量を確認できる。	○・×	○・×
		カウンターを手前にして、カチッと音がするまでカバーを開けられる。	○・×	○・×
吸入		持っているときに通気口を塞いでいない。	○・×	○・×
		吸入前の息吐きができる。	○・×	○・×
	★	ホイッスルが鳴る。（吸入に必要な吸気流速がある。）	○・×	○・×
		5秒間の息止めができる。	○・×	○・×
		吸入後の息吐きができる。	○・×	○・×
片付け		カバーを閉める前にマウスピースをふき取る。	○・×	○・×
		使用後はカバーを閉める。	○・×	○・×
うがい		うがいができる。	○・×	○・×
		うがいの必要性を理解している。	○・×	○・×

◆ 使用中または今回使用を追加した補助器具にチェック☑して下さい。
☐練習用プラセボ吸入器 ☐練習用トレーナー（笛）

◆ 症状の評価（☐A C T / ☐mM R C ※使用した方に☑して下さい。） 結果 _____

◆ 残薬: _____ 吸入（使用済みデバイス _____ 個）

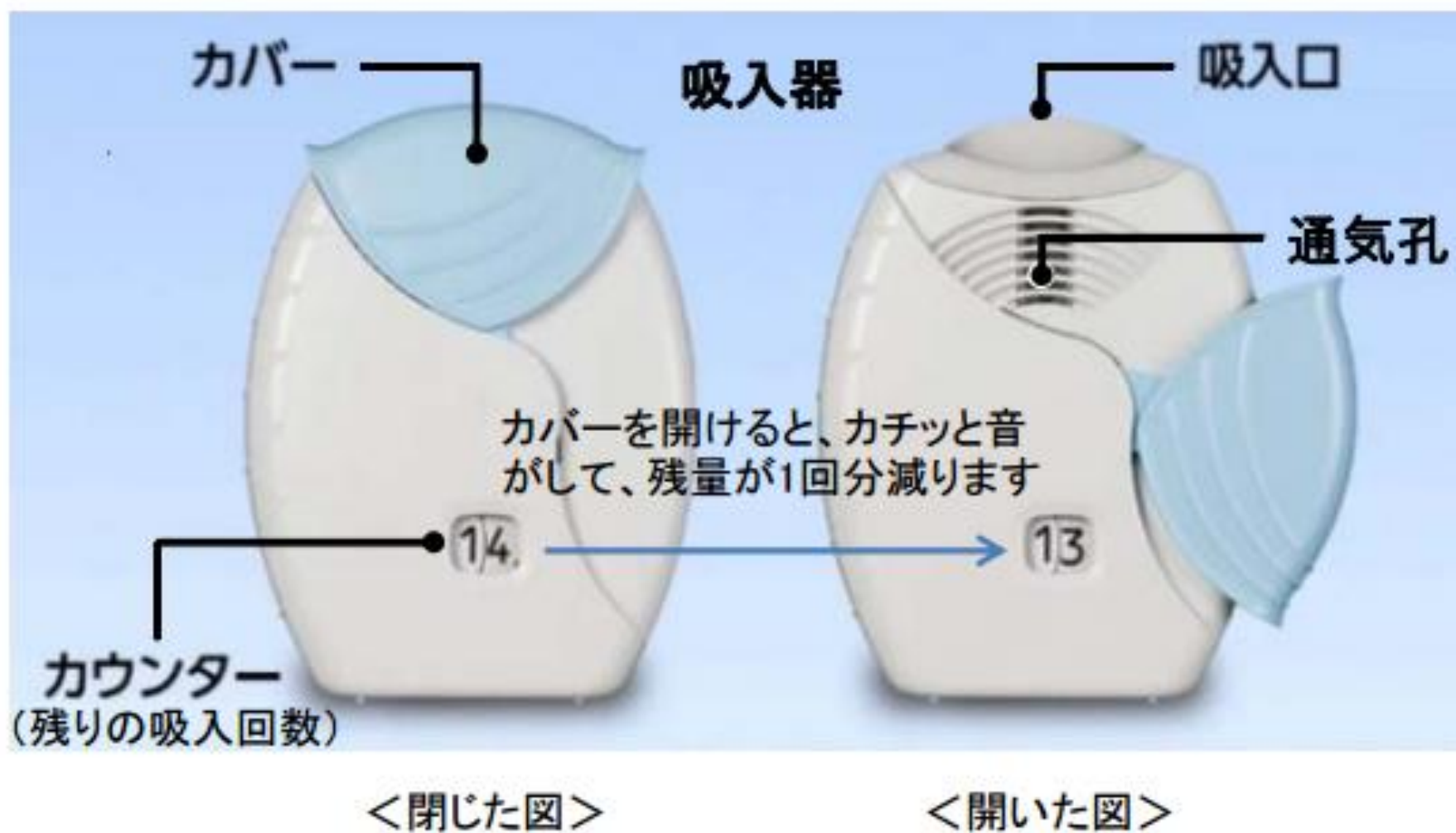
◆ 副作用の出現：なし・あり（口渇・頻尿・嘔声・口腔内違和感・その他 _____）

◆ このデバイスを使用した治療は継続可能ですか。 可能・不可

⇒不可理由（デバイス変更は一覧[HP参照]から同一用量のデバイスを選択し電話にて疑義照会してください。）

◆ 特記事項
（指導が実施できなかった場合など、トラブルや不備があればそちらも記載して下さい。）

エリプタ 各部位の名称 (薬品名:レルベア、アノーロ、エンクラッセ)



エリプタの保管上の注意 (薬品名:レルベア、アノーロ、エンクラッセ)

保管上の注意

- ☐ 包装トレイは、使用直前に開封して下さい。
- ☐ 包装トレイを開封後は、6週間以内に使用し、薬が残った場合は保管しないで廃棄して下さい。
- ☐ 高温多湿のところを避けて、室温で保管して下さい



エリプタの吸入手順(患者さん用)

【薬品名:アノーロ、エンクラッセ、レルベア】

※ 残量が少ないときは早めに新しいものを処方してもらって下さい。

※ カバーを開けてから吸入するまで、振ったり叩いたりしないで下さい。

①薬の準備

- ☐ カウンターで残量を確認します。
- ☐ カウンターを手前にして、カバーを開けます。
(カチッと音がして、カウンターの残量が1つ減ったことを確認)



②息吐き

- ☐ 無理をしない程度に十分に息を吐きだします。
(吸入口には息を吹きかけないで下さい。)

③吸入

- ☐ 吸入口を加え、深く息を吸い込みます。



④息止め

- ☐ 吸入口から口を離し、5秒間息を止めます。

⑤息吐き

- ☐ 息をゆっくり吐き出します。
(吸入口には息を吹きかけないで下さい)

⑥片付け

- ☐ マウスピースは乾いた清潔な布やティッシュで拭きとります。
- ☐ 使用後はカバーを閉めます。

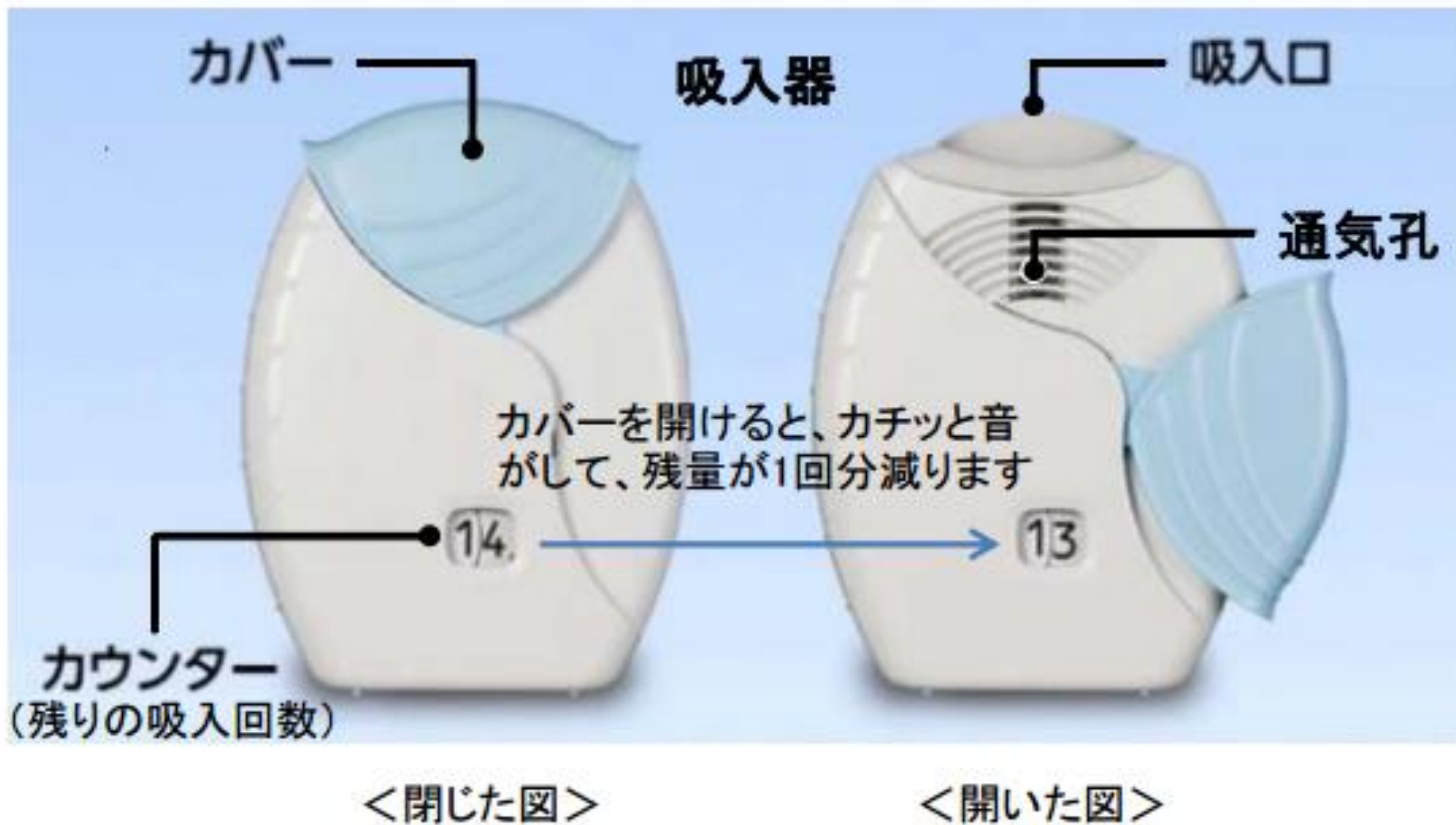
※もう1度吸入をする場合



⑦うがい

- ☐ 吸入後は、必ずうがい(ガラガラ・ブクブク)を各3回します。

エリプタ 各部位の名称
(薬品名:レルベア、アノーロ、エンクラッセ)



エリプタの保管上の注意
(薬品名:レルベア、アノーロ、エンクラッセ)

湿気に弱いため、使用直前に
とり出します。

保管上の注意

- ☐ 包装トレイは、使用直前に開封して下さい。
- ☐ 包装トレイを開封後は、6週間以内に使用し、薬が残った場合は保管しないで廃棄して下さい。
- ☐ 高温多湿のところを避けて、室温で保管して下さい



エリプタの吸入手順(薬剤師用)

【薬品名:アノーロ、エンクラッセ、レルベア】

- ※ 吸入操作練習用具(笛付)でホイッスル音の確認をします。
- ※ カバーを開けたら、振ったり叩いたりしないで下さい。

ホイッスル音が鳴ると、
ちょうど良い吸入速度です。
その感覚を覚えてもらいましょう。
鳴らないときは
吸入速度が足りません。

① 薬の準備

- カウンターで残量を確認します。
- カウンターを手前にして、カバーを開けます。
(カチッと音がして、カウンターの残量が1つ減ったことを確認)

カウンターが“0”になっても
レバーは押せますが、
薬剤は残っていません。

② 息吐き

- 無理をしない程度に十分に息を吐きだします。
(吸入口には息を吹きかけないで下さい。)

通気孔を指や唇で塞がない
ように指導します。

③ 吸入

- 吸入口を加え、深く息を吸い込みます。

吸入出来ていると、
わずかな甘みや粉感を感じます。
感じない場合は、レバーを動かさず、
そのままで②～⑤を行います。

④ 息止め

- 吸入口から口を離し、5秒間息を止めます。

肺内への薬剤の沈着率を高めるため
息止めが必要です。
ただし、無理はさせないこと。

⑤ 息吐き

- 息をゆっくり吐き出します。
(吸入口には息を吹きかけないで下さい)

カバーを閉める前に、吸入口を
拭くように指導します。

⑥ 片付け

- マウスピースは乾いた清潔な布やティッシュで拭き取ります。
- 使用後はカバーを閉めます。

※もう1度吸入をする場合

吸入ステロイドは口腔内
カンジダや嚙声などの
副作用を防止するため
吸入後すぐにうがいします。
それ以外の吸入薬も統一化を
図るため、うがい
を行うように指導します。

⑦ うがい

- 吸入後は、必ずうがい(ガラガラ・ブクブク)を各3回します。